

プレス・リリース

2017年7月7日

プリンセス・クルーズの最新客船マジェスティック・プリンセス、
日本初入港記念イベント開催
～石井啓一国土交通大臣が初のクルーズ客船視察～



(左より) ホテル・ジェネラル・マネージャー テリー・サイブリアック/プリンセス・クルーズ インターナショナル・マーケティング シニア・ヴァイス・プレジデント ゴードン・ホー/キャプテン クレイグ・ストリート/プリンセス・クルーズ インターナショナル・オペレーション エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント アンソニーH.カウフマン/エンターテインメント・ディレクター アダム・ラブ/株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長 堀川悟

プリンセス・クルーズの最新かつ最大の客船、マジェスティック・プリンセスは2017年7月3日、日本初となる横浜へ入港し、初入港記念イベントを開催しました。

マジェスティック・プリンセスは、2017年3月にイタリアのフィンカンティエリ造船所での引渡式後、プレビュー・クルーズを経て、地中海周遊クルーズに就航。5月21日より「海のシルクロード」というテーマのもと50日間のクルーズを航行。ローマを出発し、アテネ、ドバイ、コーチン、ポートケラン、シンガポール、廈門、香港、基隆を巡り、この度、横浜へと入港しました。

本記念イベントの中で、インターナショナル・オペレーションのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、アンソニー H.カウフマンは「プリンセス・クルーズの重要なマーケットである日本において、このたび最新の客船、マジェスティック・プリンセスをお披露目できることを大変嬉しく思います。2018年は、日本のお客様向けにカスタマイズされたダイヤモンド・プリンセスで、日本発着クルーズにおいて過去最長のシーズンとなる、ほぼ年間を通して運航できることを非常に喜ばしく思っています。今後、さらに多くの日本のお客様にご利用いただけるように、将来的にはマジェスティック・プリンセスと同クラスの客船を日本に配船することを視野に入れて検討していきたいと思っております」と日本マーケットに対する今後の展望を述べました。マジェスティック・プリンセスのキャプテン、クレイグ・ストリートは、「日本には何度も寄港したことがありますが、プリンセス・クルーズ史上初のミシュラン星付きシェフがプロデュースするレストランや海面39メートルの高さにあるガラス張りの通路「シーウォーク」、1,100平方メートルのスペースを誇る免税店など、最新鋭の設備を誇るマジェスティック・プリンセスにて再び訪れることができ、大変嬉しく思います」と述べました。



PRINCESS CRUISES

また、プリンセス・クルーズのジャパンオフィスである株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長の堀川 悟は「マジェスティック・プリンセスは中国マーケットに配船されますが、2018年9月～2019年3月にかけてはオーストラリアに配船され、日本を含めたインターナショナルのお客様に向けた商品も販売いたします」とマジェスティック・プリンセスによるオーストラリア発着クルーズに関して述べました。

当日は、石井啓一国土交通大臣が、就任後初となるクルーズ客船の視察を行い、乗客定員3560名、総トン数142,229トン、全長330メートルの、プリンセス・クルーズが最新鋭の設備を誇る最大の客船に大きな関心を寄せられました。

【マジェスティック・プリンセス日本初入港記念イベント】

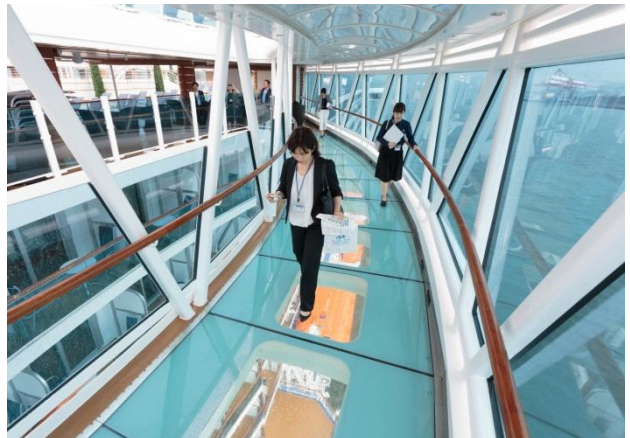
■記念すべきマジェスティック・プリンセスの初入港！

マジェスティック・プリンセスは、7月3日早朝、横浜へ日本初入港。

午前から開催されたマジェスティック・プリンセス船内見学会には、数多くのメディア、旅行会社、港湾関係の方々に参加されました。



プリンセス・クルーズで最大規模のアトリウム（ピアッツァ）



海面 39 メートルの高さにあるガラス張りの通路「シーウォーク」



最新鋭の技術を駆使したマジェスティック・プリンセスのオリジナルプロダクション・ショー「ファンタスティック・ジャーニー」



ミシュラン星付シェフがプロデュースする中華料理のスペシャリティ・レストラン「ハーモニー」



PRINCESS CRUISES

■石井啓一国土交通大臣が就任後、初めてクルーズ客船を視察

石井啓一国土交通大臣がマジスティック・プリンセスを視察されました。キャプテンならびにアンソニー H. カウフマンが操舵室をはじめ、船内を案内し、マジスティック・プリンセスが誇る最新鋭の設備の数々に石井大臣も「想像以上の大きさと素晴らしさに感銘を受けた」とコメントをされました。



プリンセス・クルーズについて

世界最大の国際的なプレミアムクルーズラインであるプリンセス・クルーズは、現在 17隻の近代的な客船を運航する、世界的なクルーズ会社。革新的なデザインの客船で、食事やエンターテイメント、施設の豊富な選択肢を、上質なカスタマーサービスとともに提供。世界的なクルーズ会社のリーダーとして、年間200万人のゲストを世界の360以上の目的地に向けて、3泊から 111泊の日程でバラエティ豊かな150以上のクルーズを運航。

プリンセス・クルーズは、[カーニバル・コーポレーション& plc](http://www.princesscruises.com) (NYSE/LSE:CCL; NYSE:CUK)傘下の会社。

プリンセス・クルーズの主な受賞歴

- 米国のトラベル関連のウェブサイト「USA トゥデイズ 10 ベスト.com」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 においてベスト・オーシャンクルーズライン賞第1位、ベスト・クルーズシップ ダイニング部門にてロイヤル・プリンセスが第1位、ベスト・クルーズシップ エンターテイメント部門にてリーガル・プリンセスが第一位、ベスト・クルーズシップファミリー向け客船部門にクラウン・プリンセスが第2位、リーガル・プリンセスが第3位、ロイヤル・プリンセスが第6位を受賞
- 米国クルーズ誌大手「ポートフォール・クルーズ・マガジン」リーダーズ・チョイス・アワード 2016 にて、ベスト・中米コース、ベスト・南太平洋コース、ベスト・オンボード・ショッピング、ベスト・シグネチャー・カクテルを受賞
- 英国クルーズ誌最大手「クルーズ・インターナショナル」主催「クルーズ・インターナショナル・アワード 2016」において、「ベスト・クルーズ・ライン賞」を三年連続で受賞
- 米国トラベル誌最大手「トラベル・ウィークリー」の「トラベル・ウィークリー・リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて「ベスト・クルーズ・ライン・イン・アラスカ」を2015年12月に受賞。(9年連続の受賞)。米国でのベストクルーズラインであることが評価され「ベスト・ドメスティック・クルーズ・ライン」を同時に受賞
- 米国のトラベル関連のウェブサイト「レコメンド」が主催する「リーダーズ・チョイス・アワード 2015」にて、ベストクルーズライン クルーズコース部門賞を2014年に引き続き2015年12月に受賞
- 「2015 トラベル・ウィークリー・アジア・リーダーズ・チョイス・アワード」のサービス・エクセレンス・カテゴリーでベスト・クルーズ・ライン賞を、2015年10月に受賞

【国内での受賞】

- 日本の歴史あるクルーズ誌「クルーズ」の読者投票「クルーズシップ・オブ・ザ・イヤー」において2014年度、2015年度、2016年度と、プリンセス・クルーズが「外国船社部門第1位」、客船『ダイヤモンド・プリンセス』が「外国船部門第1位」、「総合部門第3位」を三年連続で受賞



PRINCESS CRUISES

- 神戸市におけるクルーズ振興に貢献した功績が評価され、神戸市より「Cruise Line of Excellence」を2016年11月に受賞
- 第1回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で、観光関連産業部門の部門賞を、2015年8月に受賞
- 日本水先人会連合会が選ぶ「ベストクオリティシップ2014」を、2015年6月に受賞 日本外航客船協会主催「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2014」において、プリンセス・クルーズの日本発着クルーズが「グランプリ」受賞

株式会社 カーニバル・ジャパン
(プリンセス・クルーズ ジャパンオフィス)
<http://www.princesscruises.jp/>